

2023年10月4日  
TOPPAN 株式会社

TOPPAN、NFTを活用した縄文遺跡デジタルスタンプラリーを開催  
道内の世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の周遊により  
地域の更なる賑わいを創出

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、北海道委託事業「NFT(デジタル画像)を活用した周遊促進事業委託業務」を実施します。具体的には、道内に点在する世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産および関連資産(以下 遺跡群)を周遊することで、オリジナルの訪問記念 NFT を入手できるデジタルスタンプラリー「縄文×NFT デジタルスタンプラリー(通称:縄Nラリー)」を2023年10月13日(金)より開始します。

来訪者は遺跡群に設置された QR コードを読み取ることで、遺跡と関連したデザインの NFT を入手することができます。また、取得した NFT を遺跡周辺の協賛施設で提示すると利用できる特典も付与することで、遺跡群への誘客・周遊の活性化と同時に、地域の更なる賑わい創出を目指します。



2023.10.13(金) ▶ 2024.01.31(水)

～[縄文×NFT] 北海道の縄文遺跡群を巡ってNFTを集めよう～

「縄文×NFT デジタルスタンプラリー」のロゴおよび開催期間

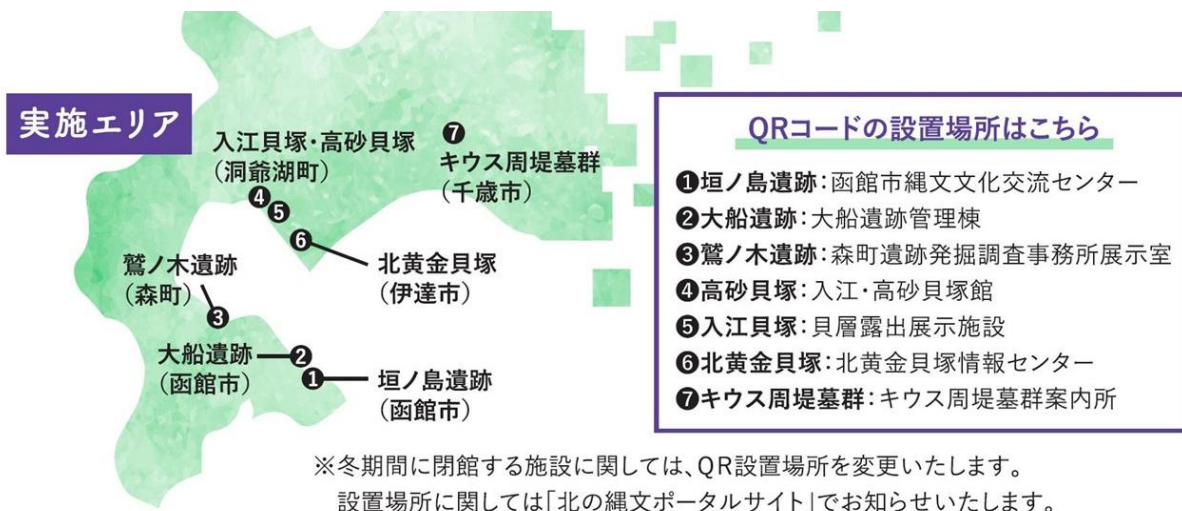
## ■ 背景

道内には世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産および関連資産が計7遺跡存在しており、遺跡がある自治体は観光客の誘致に取り組んでいます。今回、その遺跡同士の周遊を促すことで、それらの取り組みを加速させることを目指して「縄Nラリー」を実施します。また、遺跡群に関心の高い観光客はもちろん、これまで関心が少なかった若年層や、初めて訪れる人など、これまで以上に幅広い層に遺跡群の魅力を認知してもらおうべく、若年層を中心に注目を集めている NFT を活用したデジタルスタンプラリー形式でイベントを開催します。

同時に、本イベント参加者の属性情報や NFT 収集経路を分析することで、観光客への効果的な情報発信や、最適な集客施策の立案につなげていきます。なお、本キャンペーンにおける NFT は、NFT 発行サービス「ProofX」を活用し、NFT ウォレットには、「UPBOND Wallet」を採用しています。

## ■ デジタルスタンプラリー「縄文×NFT デジタルスタンプラリー(縄Nラリー)」概要

期間	2023年10月13日(金)～2024年1月31日(水)
場所	道内7か所の遺跡群 【垣ノ島遺跡(函館市)、大船遺跡(函館市)、鷺ノ木遺跡(森町)、高砂貝塚(洞爺湖町)、入江貝塚(洞爺湖町)、北黄金貝塚(伊達市)、キウス周堤墓群(千歳市)】
参加方法	遺跡群に設置されているイベントポスターの QR コードを読み取ることで、オリジナル「訪問記念 NFT」を取得することが可能です。画面上では NFT のデザインを確認できるほか、スタンプラリーが進行していく様子を楽しむことが可能です。獲得した NFT を協賛施設で提示することで、施設ごとの特典を受けられるほか、7 つの「訪問記念 NFT」を全て集めることで、「制覇記念 NFT」を入手出来ます。
オリジナル NFT	本イベントでは、北海道の縄文遺跡・文化のシンボルである「北の縄文」のロゴも手掛けたデザインユニット「ワビサビ」がデザインしたオリジナル NFT を配布予定。
特設サイト	<a href="https://jomon-nft-rally2023.jp/">https://jomon-nft-rally2023.jp/</a>
主催	北海道
企画・運営	TOPPAN 株式会社
協力	株式会社 UPBOND、株式会社 ProofX



実施エリア(道内7か所の遺跡群)

## ■ 今後の目標

TOPPAN は、本イベントを皮切りに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の周遊者数の増大や認知拡大のほか、遺跡群周辺の活性化・賑わい創出を支援します。また、NFT をはじめとした Web3 技術を観光領域へ活用する施策を、様々な地域/自治体へ提供していきます。

\* QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上